

「海辺の風景再発見」事業概要（案）

開催主旨・事業概要

石狩海岸は、札幌圏の住民にとって最も身近な海辺です。当たり前のように見てきたこの海辺の風景が、今や全国的にも大変貴重な存在となっている一方、過度なレジャー利用による動植物の消失、ごみの投棄と漂着、波による侵食等により危機的状況にあります。都市からの利用者、上流域からの漂着ごみは、海辺の環境問題が地元住民、地元自治体だけでなく、広域で取り組むべき課題であることを物語っています。

本事業では、身近に残された貴重な海辺の自然環境・自然風景について理解を深め、その保全に向けて市民意識の向上、保全活動への参加、連携を深めることを目指し、フォーラム、観察会、市民調査と多様な市民を対象にした一連プログラムによる啓発事業の実施と、広域圏での連携により、事業の効果を高めます。

フォーラム「海辺を身近に～海辺の風景再発見～」

ハマナス咲く丘と遠く広がる海は北国の海辺の原風景。当たり前のように感じてきたこの海辺の風景は、開発、過度なレジャー利用、ごみの投棄や漂着等により失われつつあります。基調講演、パネルディスカッションにより、道央圏の住民にとって身近な海辺の自然を紹介し、その価値を再発見します。（開催時期：6月）

ツアー型観察会「石狩砂丘を巡る旅」

石狩砂丘の主な地点をバスで巡り、実際の自然に触れながら、地形・成り立ち、動植物、保護と利用の現状などについて理解を深めます。（開催時期：7月）

市民調査「石狩浜生き物調査隊」

砂丘生態系、生物多様性についての講義の後、砂丘の生物多様性や環境の豊かさの指標となる哺乳類、昆虫類、また希少種等について、その生息状況を実際に調査し、海辺の生態系への理解を深めます。（開催時期：8月）

期待する効果

- ・これまで海辺に関心のなかった市民層に、海辺の魅力をアピールし、身近に感じるきっかけとなる。
- ・海辺の自然環境保全の課題を、広域で考え取り組むきっかけとなる。
- ・海浜保全活動への参加、支援促進、連携の拡大が期待される。